

2 文教厚生常任委員会

テーマ2 「一緒に考える地域の子どものこと ～安心して子育てできる環境～」

(1) 子育て支援 (担当部：子ども未来部)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育ての両立がしやすい環境整備が必要。(土日祝日の保育・子どもの預かり、ファミリーサポートセンターをもっと使いやすくするなど) ・市民同士が助け合えるよう、制服や学用品のリユースの仕組みを構築してはどうか。 	市当局に対応を求める。 「子どもを取り巻く環境の充実」に関する政策提言書に反映。	「仕事と子育ての両立がしやすい環境整備が必要である。例えば、土日祝日の保育や子どもの預かりやファミリーサポートセンター事業の拡充、子育て応援券の拡充、制服や学用品のリユースの仕組みの構築、子ども食堂設置への支援、奨学金や教育支援の充実、など。」
2	<ul style="list-style-type: none"> ・スターチケットは、紙の券でなく、スマホなどでも使えるようにしてほしい。 	市当局に検討を求める。	スターチケットは、券だけでなくスマホなどでも使えるよう改善いただきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、屋内遊び場支援としてキッズマジックのチケットがもらえるが、9歳以上の子や親は利用料がかかるので、ほとんど利用することがない。 	市当局に検討を求める。	意見交換会の中で子どもの遊び場の充実を求める声が寄せられた。現在の支援策の周知や見直し・拡充の検討をしていただきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の子育て支援は低年齢層がターゲットだが、実際は年齢が上がるにつれてお金がかかる。成長過程に応じた経済的支援があるとよい。 	市当局と情報共有する。	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てできる環境とは、安定した生活であり、収入が大切。 	市当局と情報共有する。	

(2) 遊び場 (担当部：子ども未来部、都市整備部)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天・冬場に遊べる場所（屋内の遊び場）が限られている。 ・冬の充実した屋内施設がほしい。 ・親同士も交流できるような大きい遊び場があるといい。 	市当局に検討を求める。	子どもの遊び場に関する支援策の検証、地域資源や既存施設を活かした遊びの推奨を検討していただきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具をもっと入れてほしい。 ・公園の遊具を更新・新設するための手続きを分かりやすくしてほしい。 	市当局に検討を求める。	遊具の充実は安心して子育てできる環境として重要である。子どもの遊び場として利用されている農村公園なども含めた遊具の充実、現在の支援策の周知と見直し・拡充について検討いただきたい。

(3) 居場所づくり (担当部：子ども未来部)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・児童クラブの指導員を充実してほしい。	特別に指導を要する児童への対応が必要と考え、市当局と情報共有する。	
2	・子ども達が放課後などに過ごせる場所が必要だ。児童クラブや塾とは別に、学校以外の「地域の居場所」づくりができるとうい。 ・子ども食堂をコミセンで実施している。子どもの貧困対策だけではなく、皆が集まれる居場所づくりにより、地域共生社会の実現を目指している。	市当局に対応を求める。「子どもを取り巻く環境の充実」に関する政策提言書に反映。	「仕事と子育ての両立がしやすい環境整備が必要である。例えば、土日祝日の保育や子どもの預かりやファミリーサポートセンター事業の拡充、子育て応援券の拡充、制服や学用品のリユースの仕組みの構築、子ども食堂設置への支援、奨学金や教育支援の充実、など。」

(4) 保育園 (担当部：子ども未来部)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・育児休業明けなど、保育園の入園について不安を持つ親が多い。	市当局に検討を求める。	産休後の保育園入園について当事者に届く情報発信、相談支援体制の周知をお願いしたい。
2	・保育園が各地域にある。保育園を起点とした交流を行う。	市当局に検討を求める。	保育園を起点に、地域住民や他の保育園との交流などを進めることについて検討していただきたい。

(5) 学校統廃合 (担当部：教育委員会)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の統廃合問題は、改めて地域の考え方を勉強する機会となった。 ・人口減少だけで統廃合が進んでいるのではないか。人数だけではなく通学時間なども重要だ。 	市当局に検討を求める。	統廃合問題は地元にとって非常にデリケートな問題である。今後も地元の意見を聞きながら慎重に調査研究し説得でなく納得を得ながら進めていただきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・決まる前に住民の声を充分聞いてほしい。 	市当局に検討を求める。	学校統廃合については、結論ありきでなく、住民の意見を充分聞きながら進めていただきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合によって、ふるさとに対する愛着低下が加速するのではないかと心配だ。 	市当局に検討を求める。	現状認識・統合後の市民認識として受け止めていただきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模校だけが良いのではない。人数が少ないからこそ育まれる力がある。 	市当局に検討を求める。	小規模校の魅力に関する意見として確認し、今後の検討課題としていただきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模特認校の可能性。親の通勤との組み合わせで、可能性もあるのではないか。 	市当局に検討を求める。	小規模特認校の可能性について追求・検討していただきたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・以前保育園で送迎バスのアンケートをしたとき、入園前の子ども世帯は対象外で残念だった。今後学校の統廃合などでアンケートを行う時は入学前の児童世帯も対象にしてほしい。 	市当局に検討を求める。	学校統廃合についてアンケートを実施するときは、在校生だけでなく入学予定者も対象にしていただきたい。

(6) 不登校 (担当部：教育委員会)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・学校にいけない不登校の子がコロナ禍で増えている。	市当局に検討を求める。	学校での対応を含めた現状と要因について調査し、改善に向けて取り組んでいただきたい。
2	・子どもの居場所づくりとともに親へのサポートも大事。 ・大人の孤立を防ぐため、同じ悩みを持つ人の集える場所があればよい。	市当局に検討を求める。	懇談、意見交換の場をつくるなど、保護者へのサポートについて検討いただきたい。

(7) 環境 (担当部：子育て支援課、教育委員会)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・子どもが得意分野をのばし将来を自ら選べる教育と環境が大切だ。 ・子どもと地域のひとたちとの交流の機会を多く持つ。	市当局に対応を求める。 「子どもを取り巻く環境の充実」に関する政策提言書に反映。	「地域の人材を活用し、学校と地域が一体となって子どもを育む教育の推進」、「子どもの得意分野を伸ばす教育環境の整備」
2	・柏崎には、シェルターやかけこみ寺がない。	市当局に対応を求める。 「子どもを取り巻く環境の充実」に関する政策提言書に反映。	「子どもの安全を確保するための駆け込み寺的な施設の設置が必要。」
3	・スポーツなどでは見守り手も課題になっている。	学校・団体・地域における連携・協力が必要であると考え、市当局と情報共有する。	

(8) 情報アクセス (担当部：教育委員会、子ども未来部、総合企画部)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・子育て世代に直結する会議などは、子守りなど参加しやすい体制を望む。	市当局に検討を求める。	当事者が会議などに出席できるような工夫をお願いしたい。
2	・子育て支援の情報にアクセスしやすくなるよ。	意見交換会で「子育て便利帳」を紹介したが知らないという人が多かったので、市当局と情報共有する。	
3	・市公式LINEの「子育て情報」等のように、「女性」「子育て世代」などのジャンルを作るなど、テーマに沿った意見交換会の周知方法も検討してはどうか。	当事者に伝わりやすい情報発信について議会で検討する。	